

調査		改算		令和 8 年 7 月 日	設計者氏名	
令和 8 年度 配・給水管漏水調査業務 実施設計書 業務委託料 円也 1. 事業名 1. 施行箇所 下田市 一 ～ 六丁目 地内 1. 業務概要 漏水調査延長 L=20.9Km 戸別音聴調査 3,462戸 1. 施行理由 漏水調査を計画的に行うことにより、有収率の向上を図る。						

業務委託費内訳書

1/2

費 目	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額		摘 要
							全 体	うち 2 次製品	
漏水調査 業務費									
	直接調査費								
		作業計画作成		式	1.0				第 1 号明細書
		現場調査		式	1.0				第 2 号明細書
		報告書作成		式	1.0				第 3 号明細書
	直接調査費 計								
	共通仮設費			式	1.0				
	滞在費			式	1.0				第 4 号明細書
純調査費計									
	現場管理費			式	1.0				

明細書第 1 号

作業計画作成

金 円也

1 式 当り

名 称	形 状 寸 法	数 量	単位	単 価	金 額		摘 要
					全 体	内直接人件費	
作業計画作成		20.90	km				単価表第 1 号
計							

明細書第 2 号

現場調査

金

円也

1 式 当り

名 称	形 状 寸 法	数 量	単位	単 価	金 額		摘 要
					全 体	内直接人件費	
現場下見調査		20.90	km				単価表第 2 号
戸別音聴調査		3462	戸				単価表第 3 号
弁栓音聴調査	戸別音聴調査との並行作業	20.90	km				単価表第 4 号
路面音聴調査	夜間	20.90	km				単価表第 5 号
漏水確認調査	ボーリング確認	20.90	km				単価表第 6 号
計							

明細書第 3 号

報告書作成

金 円也

1 式 当り

名 称	形 状 寸 法	数 量	単位	単 価	金 額		摘 要
					全 体	特殊二次製品	
報告書作成	集積・分析・考察提言含む		%				
直接調査費 明細書 1 号							
直接調査費 明細書 2 号							
合計							
計							

明細書第 4 号

滞在費

金 円也

1 式 当り

名 称	形 状 寸 法	数 量	単位	単 価	金 額		摘 要
					全 体	特殊二次製品	
現場下見調査	積算条件②		日				
戸別音聴調査	積算条件③		日				
弁栓音聴調査	積算条件④		日				
路面音聴調査	積算条件⑤		日				
漏水確認調査	積算条件⑥		日				
調査技師 日当							
調査技師 宿泊費							
調査士 日当							
調査士 宿泊費							
1 日当り滞在費 計	円						
計							

単価表第 1 号

作業計画書作成 単価表

金

円也

調査距離

100km未満

31km当り

名 称	形 状 寸 法	数 量	単位	単 価	金 額		摘 要
					全 体	特殊二次製品	
調査主任技師	測量主任技師		人				
調査技師	測量技師		〃				
調査士	測量技師補		〃				
計		31	km				
1 km 当り	計/31	1	〃			積算条件①	

単価表第 2 号

現場下見調査 単価表

金

円也

調査距離

100km未満

36km 当り

名 称	形 状 寸 法	数 量	単位	単 価	金 額		摘 要
					全 体	内直接人件費	
調査技師	測量技師		人				
調査士	測量技師補		〃				
金属探知器損料	ボックスロケーター		日				
音聴棒損料	L=1.5m		日				
調査用車両損料			日				
現場内運搬費	ガソリン		ℓ				
諸雑費		1.00	式				
計		36	km				
1 km 当り	計/36	1	〃				積算条件②

単価表第 3 号

戸別音聴調査 単価表

金

円也

平均給水戸数 166戸／Km

475戸 当り

名 称	形 状 寸 法	数 量	単位	単 価	金 額		摘 要
					全 体	内直接人件費	
調査技師	測量技師		人				
調査士	測量技師補		〃				
音聴棒損料	L=1.5m		日				
調査用車両損料			日				
現場内運搬費	ガソリン		ℓ				
諸雑費		1.00	式				
計		475	戸				
1戸 当り	計/475	1	〃				積算条件③

単価表第 4 号

弁栓音聴調査 単価表

金 円也

15.0km 当り

名 称	形 状 寸 法	数 量	単位	単 価	金 額		摘 要
					全 体	内直接人件費	
調査技師	測量技師		人				
調査士	測量技師補		人				
音聴棒損料	L=1.5m		日				
諸雑費		1.00	式				
計		15.0	km				
1 km 当り	計/15.0	1	〃				積算条件④

単価表第 5 号

路面音聴調査 単価表

平均給水戸数 166戸／Km

金

円也

夜間

5.6km 当り

名 称	形 状 寸 法	数 量	単位	単 価	金 額		摘 要
					全 体	内直接人件費	
調査技師	測量技師		人				
調査士	測量技師補		〃				
漏水探知器損料			日				
音聴棒損料	L=1.5m		日				
調査用車両損料			日				
現場内運搬費	ガソリン		ℓ				
諸雑費		1.00	式				
計		5.6	km				
1 km 当り	計/5.6	1	〃				積算条件⑤

単価表第 6 号 (1/2)

漏水確認調査 単価表

ボーリング確認

金

円也

166戸／Km

5.4km 当り

名 称	形 状 寸 法	数 量	単位	単 価	金 額		摘 要
					全 体	内直接人件費	
調査技師	測量技師		人				
調査士	測量技師補		人				
漏水探知器損料			日				
鉄管探知器損料			日				
金属探知器損料	ボックスロケータ		日				
相關式漏水発見器損料			日				
発電機損料	1kVA2.0PS		日				
電気ハンマードリル損料	電気 1.1kw		日				
ボーリングバー損料			日				
音聴棒損料	L=1.5m		日				
残塩測定器損料			日				
小計							

単価表第 6 号 (2/2)

名 称	形 状 寸 法	数 量	単位	単 価	金 額		摘 要
					全 体	内直接人件費	
調査用車両損料			日				
現場内運搬費	ガソリン		ℓ				
諸雑費		1.00	式				
小計							
合計		5.4	km				
1 km 当り	計/5.4	1	〃				

地区別漏水調査箇所 延長調書

※一丁目

管渠延長	:	3,534		=	3,534 m
給水戸数	:	837		=	837 戸

※二丁目

管渠延長	:	2,312		=	2,312 m
給水戸数	:	502		=	502 戸

※三丁目

管渠延長	:	2,789		=	2,789 m
給水戸数	:	504		=	504 戸

※四丁目

管渠延長	:	1,757		=	1,757 m
給水戸数	:	273		=	273 戸

※五丁目

管渠延長	:	3,174		=	3,174 m
給水戸数	:	289		=	289 戸

※六丁目

管渠延長	:	7,358		=	7,358 m
給水戸数	:	1,057		=	1,057 戸

総管渠延長	≒	20.9 km
総給水戸数	=	3,462 戸

**令和 8 年度 配・給水管漏水調査業務
特記仕様書**

第 1 業務の目的

本業務は、下田市（以下「甲」という。）給水区域内において、水道の安定供給・効率的運用・有収率の向上を目的として、漏水調査を行うものである。併せて現地調査時の現地情報を収集し、管理図面の精度向上に努めるものとする。

第 2 一般事項

本業務は、本特記仕様書に従い施工しなければならない。仕様書に記載なき事項、また、疑義を生じた場合は、甲と受託者（以下「乙」という。）が協議するものとする。

第 3 準拠する法令等

本業務は、本特記仕様書で定める外、乙は次に掲げる法令等に遵守し実施しなければならない。

- (1) 水道法
- (2) 下田市条例
- (3) その他関係する法令

第 4 業務計画

乙は本業務着手にあたり、契約締結後 7 日以内に作業実施計画書、工程表、着手届、現場代理人届、有資格者証を甲に提出し、その承認を受けなければならない。また、これを変更する場合も同様とする。

第 5 技術者の資格

- (1) 乙が選定する業務代理人は、(社)日本水道協会の「水道施設管理技士 3 級以上」の資格を有した専門技術者とする。
- (2) 乙が選定する調査主任技師は、調査業務及び漏水防止対策業務に精通し、業務の総括、計画、立案、指導を行い、実務経験 5 年以上有する者とし、(社)日本水道協会の「水道施設管理技士 2 級以上」の有資格専門技術者とする。
- (3) 乙が選定する調査技師は、調査業務及び漏水防止対策業務に習熟し、実務経験 3 年以上有する者とし、(社)日本水道協会の「水道施設管理技士 3 級以上」の有資格技術者とする。

第 6 緊急対応

現場調査期間中及び調査地区内において、乙は、甲から依頼のあった緊急漏水調査（地上不明水や住民通報対応等）を無償で迅速（連絡を受けてから原則 2 時間以内）に

対応しなければならない。

また、現場調査期間外及び調査地区外は有償で対応するものとし、緊急連絡先一覧・体制表を、監督員に提出するものとする。

第7 安全管理

- (1) 調査中、交通安全に万全の注意を払い、安全に十分注意して実施すること。
- (2) 事故等が発生した場合は、監督員に事故報告書を発生日翌日までに提出すること。
- (3) 個人情報の紛失、交通事故、事件などの安全対策に留意し、業務上必要となる各種保険は乙が加入すること。
- (4) 乙は、責任をもって漏水位置の特定に努めなければならない。報告した漏水位置が違った場合、乙の責任により誠意をもって対応しなければならない。
- (5) ボーリング作業にあたっては、埋設物に十分気を付けるとともに、舗装路のボーリング箇所は必ずロードキャップで補修しなければならない。
- (6) 弁蓋の離脱事故を防止するため、漏水調査後は弁栓類の弁蓋を確実に装着しなければならない。

第8 土地の立ち入り

乙は、作業の実施にあたり、甲の発行する身分証明書を常時携帯し、民有地に立ち入って調査を行う場合は、調査の目的を明確にして承認を得た後に調査を行い、住民とのトラブルを避けるように十分注意しなければならない。

第9 秘密の保持

- (1) 乙は、業務を処理する上で知り得た秘密を漏らしてはならない。
- (2) 前項の規定は、本業務完了後又は契約を解除した後も同様とする。
- (3) 乙は、業務の成果品を他人に閲覧、複写、又は譲渡してはならない。ただし、甲の承諾を得たときはこの限りではない。

第10 履行期間

契約日から令和9年1月25日までとする。

第11 施行箇所

- (1) 施行箇所は、下田市 一 ～ 六丁目 地内とする。
- (2) 調査箇所は、配水量・事故履歴・経年管分布等を考慮し、双方協議の上別に定める。

第 1 2 業務の内容

(1) 実施内容

ア) 作業計画

本特記仕様書・設計書・上水道配水管路図を十分把握し、最も効率的な作業計画を作成する。

イ) 現場下見調査

本調査に先立ち、調査区域の上水道配水管路図と現地を照合し、調査範囲や地域の特性等を確認する。

ウ) 戸別音聴調査

音聴棒を止水栓または量水器に当てて聴音し、漏水疑似音の有無を調べる。調査は甲が貸与する図面を使用するものとする。

エ) 弁栓音聴調査

仕切弁・消火栓等の配水管附属物を対象とし、音聴棒を用いて聴音し、漏水疑似音を探知する。

オ) 路面音聴調査

漏水探知器を用いて管路埋設路面上を音聴調査する。なお、調査時のピックアップの間隔は1mとし綿密に調査する。

カ) 漏水確認調査

各種の音聴調査で発見された異常音が漏水であるか確認し、漏水であった場合位置を決定する。また、公道上で発見した漏水は、修理後に漏水復元の有無を確認する。付近に音水圧を記録できる機器を設置し、漏水音が残存する場合は追跡調査を行う。

キ) 報告書作成

調査の結果を報告書としてまとめ提出する。

(2) 作業日報は、調査実施日の1日単位で作成するものとする。

(3) 漏水を発見した場合は、直ちにその位置を甲に報告する。また漏水調査票にその内容を記録し提出する。

(4) 現地調査で配水管附属物の有無、位置や向きに誤りがあった場合、貸与された管網図面及び資料をプリント出力した図面上に現地情報を修正・記載し、その図面を甲へ提出する。

(5) 次年度以降における有収率向上のため本業務に係る効率的な調査方法等の業務提案を行う。

(6) 業務完了後は、次に定める報告を甲に提出し、その検収をうける。

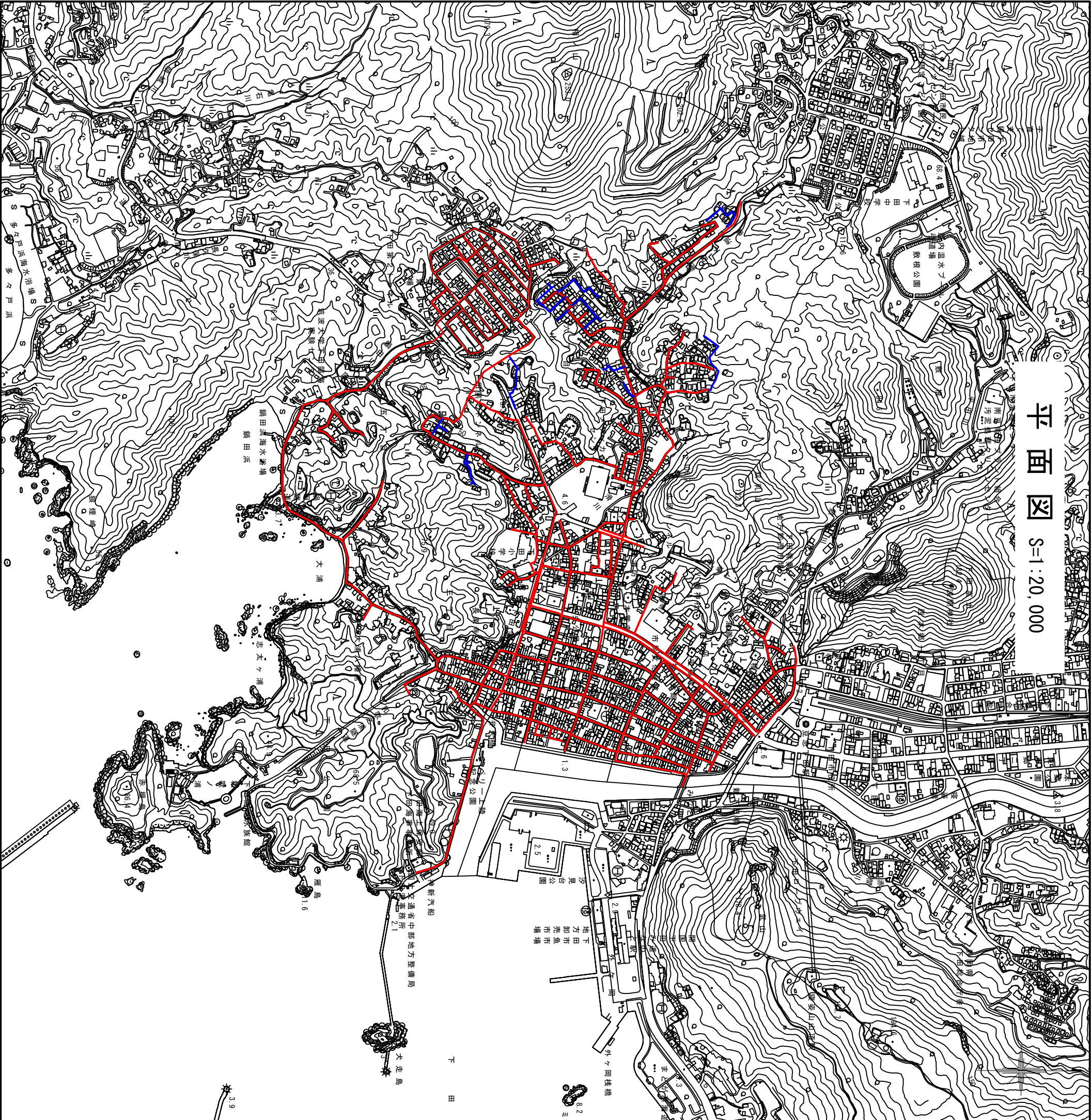
- ア) 漏水調査報告書…………… 1 部
- イ) 漏水調査作業日報…………… 1 部
- ウ) 漏水調査票…………… 1 部
- エ) 調査現状写真…………… 1 部
- オ) 修正箇所図…………… 1 部
- カ) 漏水位置図…………… 1 部
- キ) 漏水追跡データ（音水圧）…………… 1 部

第 1 3 資料の貸与

- (1) 甲は乙に対し、業務に必要な管網図、資料類等の関係資料を貸与する。乙は資料の破損、盗難等の事故の無いように取り扱うとともに、業務目的以外での使用や複写をしてはならない。
- (2) 乙は、貸与された関係資料の取扱いに十分注意し、業務完了後は、遅延なく返却し、電子データについては消去しなければならない。

第 1 4 その他

- (1) 乙は、甲が了承する以外の本業務に必要な消耗品、機材等の全てを負担する。
- (2) 乙は、業務従事者に係る経費の全てを負担する。
- (3) 本業務により生じた交通事故等第三者に対する危害及び紛争は、乙の責務として解決する。



平面図 S=1:20,000

○管渠延長 L=20,924m≒20.9km

- 一丁目 L=3,534m
- 二丁目 L=2,312m
- 三丁目 L=2,789m
- 四丁目 L=1,757m
- 五丁目 L=3,174m
- 六丁目 L=7,358m

○給水戸数 N=3462戸

- 一丁目 N=837戸
- 二丁目 N=502戸
- 三丁目 N=504戸
- 四丁目 N=273戸
- 五丁目 N=289戸
- 六丁目 N=1,057戸

令和 8 年 度					
工事名称		配・給水管漏水調査業務			
図面名称		管 路 図			
縮 尺	図 示		番 号	1 / 1	
課 長		主 検 任 印	設 計	製 図	
静 岡 県 下 田 市 役 所					